

働き方改革及び工事円滑化に向けた取組み

最終とりまとめ（概要）

2024年3月21日

（一社）日本建設業連合会

NEXCO東日本・中日本・西日本

1. 優先課題

発注者として、業界団体との意見交換会等を踏まえ、工事管理の効率化や書類の簡素化に取り組んできたところである。

2024年4月から建設業に時間外労働の上限規制が適用されるため、長時間労働の是正が急務である業界からの要望を踏まえて、さらに以下の課題に対する取り組みを進めていく。

課題Ⅰ：設計変更や対外協議のための資料作成の削減

課題Ⅱ：品質管理、出来形管理の効率化、書類の簡素化

2. 推進会議による検討状況

■ 推進会議の実施（日建連、NEXCO3社）

- 第1回・・・2023年7月26日 日建連アンケート確認、検討課題抽出
現地ヒアリング 2023年8月3日～9月6日 NEXCO3社と日建連で実施
発注者、施工管理会社、受注者
(全69工事：東：26工事、中：21工事、西：22工事)
- 第2回・・・2023年9月12日 現地アンケート結果、NEXCO3社施策（案）確認
- 第3回・・・2023年10月10日 日建連改善要望、NEXCO3社施策（案）確認
- 第4回・・・2023年10月20日 中間とりまとめ
- 第5回・・・2023年11月22日 下半期に向けた懸案協議、NEXCO3社施策（案）確認
- 第6回・・・2024年1月25日 最終とりまとめ(案)、次年度取組み施策(案)協議
(一社)日建連とNEXCO各社役員を交えた意見交換会
2月7日(中日本)、2月14日(西日本)、3月7日(東日本)
- 第7回・・・2024年3月18日 最終とりまとめ、次年度取組み施策決定
- 2024年4月 取組みの運用開始
2024年7月 要領等改定
- 2024年7月以降も業界団体と連携し、効率化、省力化に資する検討を継続実施

3. 2024年3月までの対応状況と今後の予定

(1) 適正な工期の設定

① 週休2日工事の完全実施

- ・既契約の未対応工事を週休2日指定工事へ移行
- ・雨天日、猛暑日を考慮した工期設定

2024年4月以降の対応

② 書類作成工期の付与と費用負担

③ 適正な工期算出のための歩掛の設定、必要な経費等の計上（特に交通規制）

2024年4月以降の対応

(2) 書類作成の軽減

① 設計変更時及び対外協議の作成資料の軽減

- ・過剰な作成資料の状況把握、事例のとりまとめ
- ・意思決定を迅速化し過剰な資料作成指示を抑制させる仕組みの導入
- ・変更指示、対外協議における協議資料の簡素化及び役割分担の明確化
- ・NEXCO社員および施工管理員への意識の徹底

② 工事書類の簡素化と受発注者間の認識合わせ

- ・土木工事関係書類簡素化ガイドラインの策定
- ・工事情報共有・保存システム(K-cube2)の機能改良
- ・新たな利便性機能を付与した新システムの構築検討

(3) 施工管理の効率化・省力化

① 検査や立会手法の改善

- ・遠隔臨場の適用拡大などIT活用による、検査立会時間の短縮
- ・DXなど新技術活用の拡大による、書類作成時間の削減
 - コンクリート施工管理要領の改定による書類の削減
 - その他の施工管理要領の改定による書類の削減

② プレキャスト製品の更なる活用

2024年4月以降の対応

2024年4月以降の対応

(4) 設計図書の品質向上

① 精度の高い設計図書の作成

② 積算条件の明示等への配慮

2024年4月以降の対応